

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2276
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市道柏原堀切小敷塚1号線整備事業		
根拠法令等	道路法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道路
-----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	国道23号蒲郡バイパス(仮称)蒲郡西ICとのアクセスを図るため
手段	市道(柏原町堀切から柏原町小敷塚まで)を整備(新設)することにより
想定する成果	道路網の整備、市街地への交通量の分散及び周辺地域の交通の安全を図る。

事業の概要(当該年度実績/計画総事業)

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
用地買収面積	1,235.36/8,953.64㎡	4,823.68/8,953.64㎡	2,894.6/8,953.64㎡
補償件数	3/13件	6/13件	4/13件
工事費	0/259,000千円	0/259,000千円	0/259,000千円

成果指標

成果指標名	用地買収進捗率	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収済面積 ÷ 総買収面積 × 100	累積実績事業費 ÷ 総事業費 × 100

事業の進捗状況(一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	13.8%	67.7%	-
成果指標	計画	-	-	50.0%
	実績	9.0%	35.5%	-
事業費	事業費	40,963	135,793	74,544
	人件費	12,066	7,784	7,889
	(人数)	1.5	1.0	1.0
	合計	53,029	143,577	82,433
財源内訳	国	12,650	62,500	37,000
	県			
	市債	15,000	28,100	16,600
	その他			
	一般財源	25,379	52,977	28,833

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	16評価	18評価	16評価	
達成度	3	2	3	2	平成17年度から用地買収に着手し、平成19年度に用地取得を完了する。ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	2	2	用地取得後、平成20年度及び21年度に工事を施行予定、投資効果は工事完了後に表れる。
事務効率性	3	2	3	2	公平性及び透明性を確保するため、職員が直接事務を執行する必要があり、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	一般国道23号蒲郡バイパス（仮称）蒲郡西ICと市街地を結ぶ重要なアクセス道路である。
小計	11	9	11	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	快適なまちづくりを進めるために必要な道路であり、地域の交通安全の確保と地域道路網の整備に効果がある。
合計	14	9	14	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	平成21年度を完了目標として整備しており、完了後は、国道23号蒲郡バイパスとのアクセスによる利便性、歩車道分離による安全の確保、生活環境の向上が図られる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
国庫補助事業（国庫補助率5.0/10）の認定を受け、一般財源の縮減に努めた。	

今後改善すべき点

国道23号蒲郡バイパスの進捗にあわせ、今後とも、国および愛知県との連携、調整を密にし、事業を進めていく必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

平成21年度ごろの、国道23号蒲郡バイパス（仮称）蒲郡西ICまでの開通にあわせ、アクセス道路となる市道柏原堀切小敷塚1号線の整備を完了する必要があり、平成20年度以降、工事費を計上する。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2276
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市道宮成町小敷塚1号線（都市計画道路蒲中線）整備事業		
根拠法令等	道路法、都市計画法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道路
-----------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	周辺地域の住民及び国道247号中央バイパス利用者に対し
手段	国道247号中央バイパス取り付け道路を整備することにより（神ノ郷町東蔵伝から神ノ郷町南蔵伝まで）
想定する成果	交通安全の確保と、利用者の利便性の向上を図る。

事業の概要（当該年度実績/計画総事業）

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
用地買収面積	180.68/796.44㎡	496.54/796.44㎡	119.22/796.44㎡
補償件数	5/9件	3/9件	1/9件
工事費	0/191,000千円	22,604/191,000千円	134,078/191,000千円

成果指標

成果指標名	用地買収進捗率	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収済面積 ÷ 総買収面積 × 100	累積実績事業費 ÷ 総事業費 × 100

事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	22.7%	85.0%	-
成果指標	計画	-	-	83.1%
	実績	11.3%	36.3%	-
事業費	事業費	29,153	80,018	152,047
	人件費	4,022	3,892	3,945
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	33,175	83,910	155,992
財源内訳	国		23,320	82,280
	県			
	市債	22,800	15,200	23,600
	その他		(県負担金) 4,468	(県負担金) 6,702
	一般財源	10,375	40,922	43,410

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	16評価	18評価	16評価	
達成度	3	2	3	2	平成17年度から用地買収に着手し、平成19年度には用地買収を完了する予定である。
経済効率性	2	2	2	2	国道247号中央バイパスの供用開始にあわせ、平成19年度以降も引き続き工事を施工するため、投資効果は出ていない。
事務効率性	2	2	2	2	公平性及び透明性を確保するため、職員が直接事務を執行する必要があり、投入された人員に見合った効果をあげている。
必要性	3	2	3	3	国道247号中央バイパスへの取り付け道路として必要であり、市が実施すべき事業である。
小計	10	8	10	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	安全で快適なまちづくりを進めるために必要な道路であり、非常に効果がある事業である。
合計	13	8	13	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	A	国道247号中央バイパス利用者以外にも、地域住民の利便性の向上、歩車道分離により安全の確保が図られる。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
国庫補助事業（国庫補助率5.5/10）の認定を受け、一般財源の縮減に努めた。	

今後改善すべき点

平成19年度に用地取得が完了予定のため、引き続き工事を進め事業を進める必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2276
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市道三谷池田曲り田1号線整備事業				
根拠法令等	道路法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道路
-----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	豊岡町曲り田地区と国道247号中央バイパスとのアクセスを図るため
手段	市道を整備することにより
想定する成果	地域の交通安全の確保、防災道路として整備し、健全な市街地の形成を図る。

事業の概要(当該年度実績/計画総事業)

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
用地買収面積	0/13,858㎡	0/13,858㎡	398.03/13,858㎡
補償件数	0/5件	0/5件	1/5件
工事費	12,991/267,475千円	0/267,475千円	12,000/267,475千円

成果指標

成果指標名	用地買収進捗率	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収済面積 ÷ 総買収面積 × 100	累積実績事業費 ÷ 総事業費 × 100

事業の進捗状況(一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	93.9%
	実績	91.0%	91.0%	-
成果指標	計画	-	-	75.8%
	実績	70.0%	70.1%	-
事業費	事業費	13,859	420	39,572
	人件費	805	3,892	3,945
	(人数)	0.1	0.5	0.5
	合計	14,664	4,312	43,517
財源内訳	国			
	県			
	市債	10,800		27,000
	その他			
	一般財源	3,864	4,312	16,517

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	2	1	2	財政難により、計画(H10～H22)どおり進捗していない。
経済効率性	2	2	2	2	国道247号中央バイパス側にアクセスできず、投入された予算に見合った成果をあげておらず、効率性に欠ける。
事務効率性	1	2	1	2	目標どおり予算確保がされず、効率的な事務執行に欠ける。
必要性	3	3	3	3	豊岡曲り田地区と国道247号中央バイパスとのアクセス道路、畑地帯総合整備事業を完了させるためにも必要な事業である。
小計	7	9	7	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	国道247号中央バイパスとのアクセス道路として整備することにより、地域の交通安全・生活環境及び畑地帯総合整備事業との連携による地域経済の向上が図られる。
合計	10	9	10	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	早期の用地取得、工事施工により、事業成果・投資効果を達成する必要がある。
------	---	---	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
道路用地買収単価について、年度ごとに単価の見直しを実施している。	

今後改善すべき点

経済効率性を高めるため、厳しい財政事情のなかでも継続的に予算措置を図る必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

目標達成のため、用地費及び補償費を計上したい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2276
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	市道西浦堂前浜田1号線整備事業		
根拠法令等	道路法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	道路
-----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	県道深溝西浦線の慢性的な交通渋滞等の解消を図るため
手段	市道西浦堂前浜田1号線を整備することにより
想定する成果	生活環境の充実と歩行者の安全確保及び交通渋滞の解消を図る。

事業の概要(当該年度実績/計画総事業)

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
用地	971.6/8,562.0㎡	426.64/8,562.0㎡	894.42/8,562.0㎡
補償	6/35件	4/35件	1/35件
工事費	0/190,000千円	0/933,558千円	40,097/933,558千円

成果指標

成果指標名	用地買収費	事業進捗率
成果指標の説明	累積買収面積 ÷ 総事業用地 × 100	累積実績事業費 ÷ 総事業費 × 100

事業の進捗状況(一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	66.9%
	実績	51.7%	56.6%	-
成果指標	計画	-	-	45.1%
	実績	24.0%	35.6%	-
事業費	事業費	97,419	96,199	75,617
	人件費	10,457	12,454	12,622
	(人数)	1.3	1.6	1.6
	合計	107,876	108,653	88,239
財源内訳	国			22,000
	県			
	市債	94,500	64,700	27,900
	その他			
	一般財源	13,376	43,953	38,339

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	平成16年度から用地買収に着手し、ほぼ目標どおりに進捗している。
経済効率性	2	2	2	1	用地買収後に工事着手するため、投入された予算の効果は見受けられない。
事務効率性	2	2	2	2	公平性及び透明性を確保するため、職員が直接事務を執行する必要がある。
必要性	3	3	3	3	地域住民の安全及び利便性の向上と、県道深溝西浦線の慢性的な渋滞を解消を図るために必要な道路である。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	3	-	3	-	快適なまちづくりを進めるために必要な道路であり、効果が高い事業である。
合計	12	9	12	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	西浦町及び形原町における主要道路である県道深溝西浦線のバイパス道路として、慢性的な交通渋滞の解消、災害時における緊急道路の機能を持ち、安全・安心なまちづくりに寄与する道路である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
事業投資効果を高めるため、地権者及び地元総代等に協力を求め、北側から順に用地を取得し、一部工事を施工した。	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

平成22年度完了予定のため、引き続き用地費・補償費等の予算確保を図る。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	道路建設課	内線等	2276
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	電柱等移設事業		
根拠法令等	道路法		A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適で安らぎのあるまちづくり	道路
----------------	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市道の新設・改良の支障となる電柱等を
手段	移設及び布設替えすることによって
想定する成果	車道の有効幅員を確保し、まちなみ景観に配慮し、道路整備事業の進捗を図る。

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
排水管布設替等	0件・0千円	0件・0千円	0件・0千円
電柱移設補償	1件・868千円	3件・1,245千円	5件・2,500千円
計	1件・868千円	3件・1,245千円	5件・2,500千円

成果指標

成果指標名	電柱等移設件数	-
成果指標の説明	電柱等が移設された件数	-

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	5件
	実績	1件	3件	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	867	1,245	2,500
	人件費	1,609	1,557	1,578
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	2,476	2,802	4,078
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,476	2,802	4,078

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	16評価	18評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	道路整備事業に支障となる電柱の移設を行うことができた。
経済効率性	3	3	3	3	投入された事業費に見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	2	3	2	3	電気事業者等が実施すべき事業であるが、道路の新設改良のために支障となるため、市が直接実施すべき事業である。
小計	11	12	11	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	施策を達成するために効果がある事業である。
合計	14	12	14	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
道路の有効幅員を確保するため、市民の理解を得て、移設する電柱については、民地に設置することができた。	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】